

清水の子



『未来を創造する
清水の子の育成』

- ◇学びを広げる子
- ◇思いやりあふれる子
- ◇たくましさみなぎる子

TEL 33-7285

Eメール simizu-es1@hokkaido.school.ed.jp
第 2 号 令和元年5月24日発行

交通事故から子どもを守りましょう

校長 松井操人



交通事故により、幼い子どもが犠牲になる報道を最近よく目にします。そして、その中には、保護者といっしょに横断歩道を渡っていたり、歩道で信号待ちをしていたりと、きちんと交通ルールを守っているのに事故に遭ってしまっている例もあります。これらは言うまでもなく、運転する側の責任です。自分も含めて、車を運転する者は、運転中に一瞬たりとも気を抜いてはいけないことを、改めて肝に銘じなければいけません。



家庭で・地域で・学校で

子どもたちへの指導も欠かせません。学校では、4月に「青空交通教室」（1・2年生とこぶし学級）や「自転車教室」（3年生以上）などの交通安全指導を行っています。いずれも市の交通指導員の方をお招きし、講師をお願いしました。地域の子ども会で実施しているものもあります。それらの中では特に新しいことを指導しているわけではありません。「信号を守る」「信号が青でも周りをきちんと見る」「横断歩道では自転車を押して渡る」など、基本的なことの確認ばかりです。繰り返し繰り返し子どもたちに言って聞かせ、「万が一」の事故に遭わないように、子どもたちが自分で自分の身を守ることができるように指導しています。

また、登下校時は地域や保護者の皆様を中心に、交通安全指導を毎日行ってくださっています。本当にありがとうございます。5月15日（水）には「開成中学校区内生徒指導連絡協議会」の総会が行われ、交通指導も含めた、子どもの安心安全を守る取組について協議しました。地域・保護者・学校が一体となって、未来ある子どもたちを守る取組が今年度も行われます。

事故が増える時期です

苫小牧もようやく暖かくなってきて、学校が終わって帰宅してから、子どもたちが外で活発に活動する姿が見られます。全国的な統計では、この時期は小学1年生の交通事故が突出して多く発生しているそうです。子どもが外に遊びに行くときには、「車に気をつけてね」と一声かけることも、我々大人の習慣としていきたいものです。



今年度もよろしくお祈いします！ 「ひだまり」の皆さん

清水小の図書ボランティアサークル「ひだまり」の今年度の活動がスタートしました。今年は6人もの新スタッフが入ってくださったとのこと。ご協力に感謝いたします。年度途中の加入も受け付けていますので、興味をお持ちの方は学校までご連絡下さい。

この日の作業は、新しい本へのブックカバーの装着でした。

